

2011

環境報告書

EXEDY Corporation Environmental Report



EXEDY
株式会社エクセディ

CONTENTS

会社概要……………1
 環境理念・方針……………2
 環境マネジメント……………3～4
 生産・製品における環境保全活動……………5～6
 生産・製品におけるCO₂削減への取組み実施例……………7～8
 社会との共生……………9～10

■対象期間

2010年度(2010年4月1日～2011年3月31日)を対象としていますが、この期間外であっても、必要と判断した事象も含めて報告しています。

■対象組織

国内事業所の本社・上野事業所・川越工場を対象範囲としています。また、関係会社の活動状況についても一部紹介しています。

■編集方針

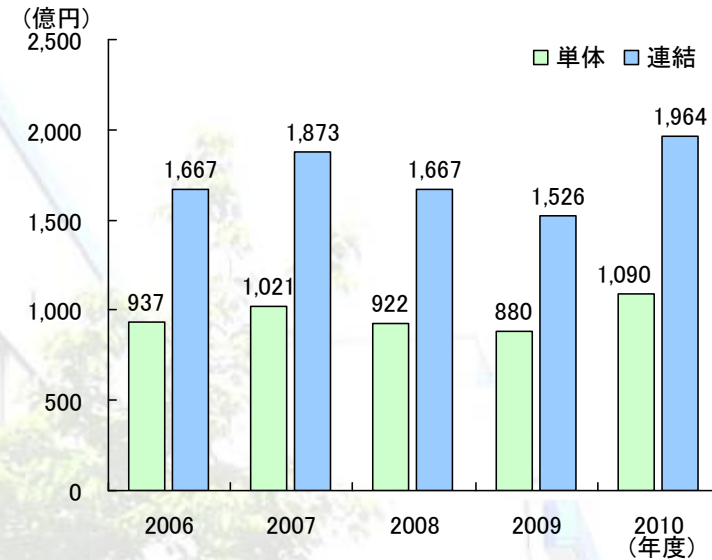
社会との共生では、社会貢献に加えて労働安全衛生等の取り組み事例について紹介しています。本報告書の作成に当たっては、環境省の「環境報告書ガイドライン」を参考にしています。



表紙の写真は、本社に隣接した 1,283 平方メートルの敷地に設立された「株式会社エクセディ太陽」です。エクセディでは、障がいのある方のパワーをフルに活かせる企業として、やりがいのある職場を目指して、その活躍の場を拡げて参ります。

会社概要

商 号 株式会社エクセディ
 英 文 社 名 EXEDY Corporation
 設 立 1950年(昭和25年)7月1日
 資 本 金 8,284百万円
 取 締 役 社 長 清水春生
 グループ社員数 約13,000名
 売上高推移 (数値は2011年3月31日現在)



国内事業所 本社(大阪府寝屋川市)
 上野事業所(三重県伊賀市)
 川越工場(埼玉県川越市)

連結対象会社
 国内 北海道・広島等 計11社
 海外 欧米・アジア等 計25社
 総数 36社(持分法適用会社含む)

主要製品

AT事業:自動変速装置部品



MT事業:手動変速装置部品



TS事業:建設・産業車両、農機・商用車用装置部品



環境理念

エクセディは、自然と社会との共生を実現するために、企業理念＝『喜びの創造』を追求し、企業活動の全ての面において、地球にやさしい環境づくりに努めます。

環境方針

エクセディ環境理念に基づき、生産・製品・サービスの分野において、環境マネジメントシステムを実行し、環境問題の未然防止と継続的改善活動を積極的に推進します。

- 1) 環境に関する法令・条例・協定および同意したその他の要求事項を遵守します。
- 2) 産業廃棄物の削減と資源の有効利用を推進します。
- 3) 環境に配慮した製品開発とものづくりにおいて、地球温暖化防止と環境負荷物質の廃止・削減を推進します。
- 4) 地域の環境改善への参加・支援に積極的に取り組みます。
- 5) この環境方針は、すべての従業員に周知させるとともに、社外に開示します。

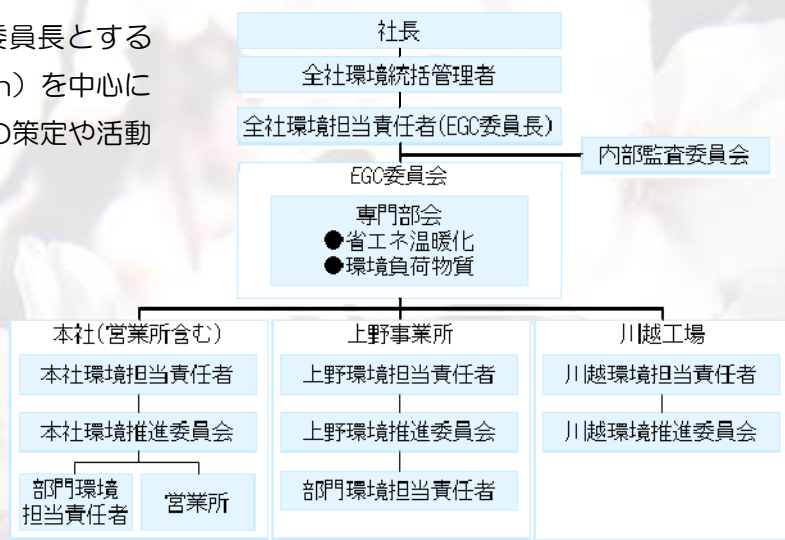
2007年4月1日

取締役社長 清水春生

環境マネジメント

環境マネジメント体制

エクセディでは、全社環境担当責任者を委員長とするEGC委員会（EGC:EXEDY Global Clean）を中心にマネジメント体制を構築し、全社環境方針の策定や活動状況の管理を実施しています。



JQA-EM0901

2010年度実績と2011年度目標

項目	2010年度		2011年度
	計画	実績	目標
省エネ活動 ・1990年度比CO ₂ 排出量7%減 ・原単位※120%減 (2008年～2012年度5年間平均値で評価)	原単位 :42.5トン-CO ₂ /億円	原単位: 前年度比1.4%減 42.8→40.1トン-CO ₂ /億円	原単位 :38.1トン-CO ₂ /億円
3R※2の推進 「新ゼロエミッション」達成	原単位:前年度比3%減 産廃排出量:0.55トン/億円 リサイクル率:95%	原単位: 前年度比11%減 0.57→0.156トン/億円 リサイクル率:95%	原単位:前年度比3%減 産廃排出量:0.151トン/億円 リサイクル率:98%
環境負荷物質の削減・廃止及び管理	※3 PRTR法に基づく管理	行政及び部工会※4 へ報告	PRTR法に基づく管理
車両の燃費向上に貢献する製品開発	2次試作の評価と量産移行・受注の獲得	量産移行決定 (量産準備中)	低燃費製品の品揃え開発
環境負荷物質の削減 (有害物質の全廃)	補修部品の6価クロム・鉛廃止推進の継続	6価クロム順次廃止 継続中	補修部品の6価クロム・鉛廃止 推進の継続

※1 原単位:CO₂排出量/売上高 ※2 3R:リデュース・リユース・リサイクル ※3 PRTR法:化学物質の排出・移動量届出制度 ※4 部工会:日本自動車部品工業会

環境会計 ～環境活動への費用・投資～

環境に対する取り組みを効果的に推進していくために、環境保全コストとその活動により得られた環境保全効果と経済効果を表しています。

2010年度環境保全コスト

(単位:百万円)

コスト項目	投資	費用	主な取り組み内容
公害防止	0	61	床面改修工事, 油水分離槽設置, 土壌浄化
地球環境保全	199	2	太陽光発電パネル・高効率照明・高効率空調導入
資源循環	0	107	廃棄物処理・リサイクル処理
管理活動	0	14	環境月間イベント, ISO更新審査
研究活動	0	98	低燃費化製品・再資源化材料の開発, 軽量化
社会活動	0	20	事業所内の緑化, 地域との交流
合計	199	302	
総計		501	

環境保全に伴う経済効果と物量効果

<経済効果>

(単位:百万円)

効果項目	2008年度	2009年度	2010年度
CO ₂ 削減の低減	51	17	103
廃棄物処理費用の低減	0	41	0
有価物の売却	865	582	1,014
合計	916	640	1,117

<物量効果>

効果項目	2008年度	2009年度	2010年度
産業廃棄物排出量※5	590トン	500トン	172トン
CO ₂ 排出量	39.9千トン-CO ₂	37.5千トン-CO ₂	43.7千トン-CO ₂

※5 産業廃棄物排出量は、リサイクル分除く

環境監査 (ISO14001)

部門自主監査、定期内部監査、外部機関による審査の3段階による監査及び審査を実施しています。

ISO14001定期審査

2010年5月24日～27日の4日間にわたり、JQAによるISO14001定期審査が行われました。今回の審査では「省エネ7つの着眼点」に基づいた活動などが高く評価されました。今回指摘を受けた項目については、各部門へ水平展開し、さらなるシステムの改善を進めます。

<<審査及び監査結果>>

年度		重大な不適合	軽微な不適合	改善の機会
2010	定期審査 (2010/5月)	0件	0件	13件
	内部環境監査 (2011/3月)	2件	13件	45件

生産・製品における環境保全活動

～最少エネルギーと最少材料で～

エネルギー

- 💡 電力: 134,758 千kWh
- 🔥 灯油: 232 kℓ
- 🛢️ ガソリン: 151 kℓ
- 🛢️ 軽油: 194 kℓ
- 🚗 都市ガス: 95 千m³
- 🚗 LPG: 666 ト

購入材料

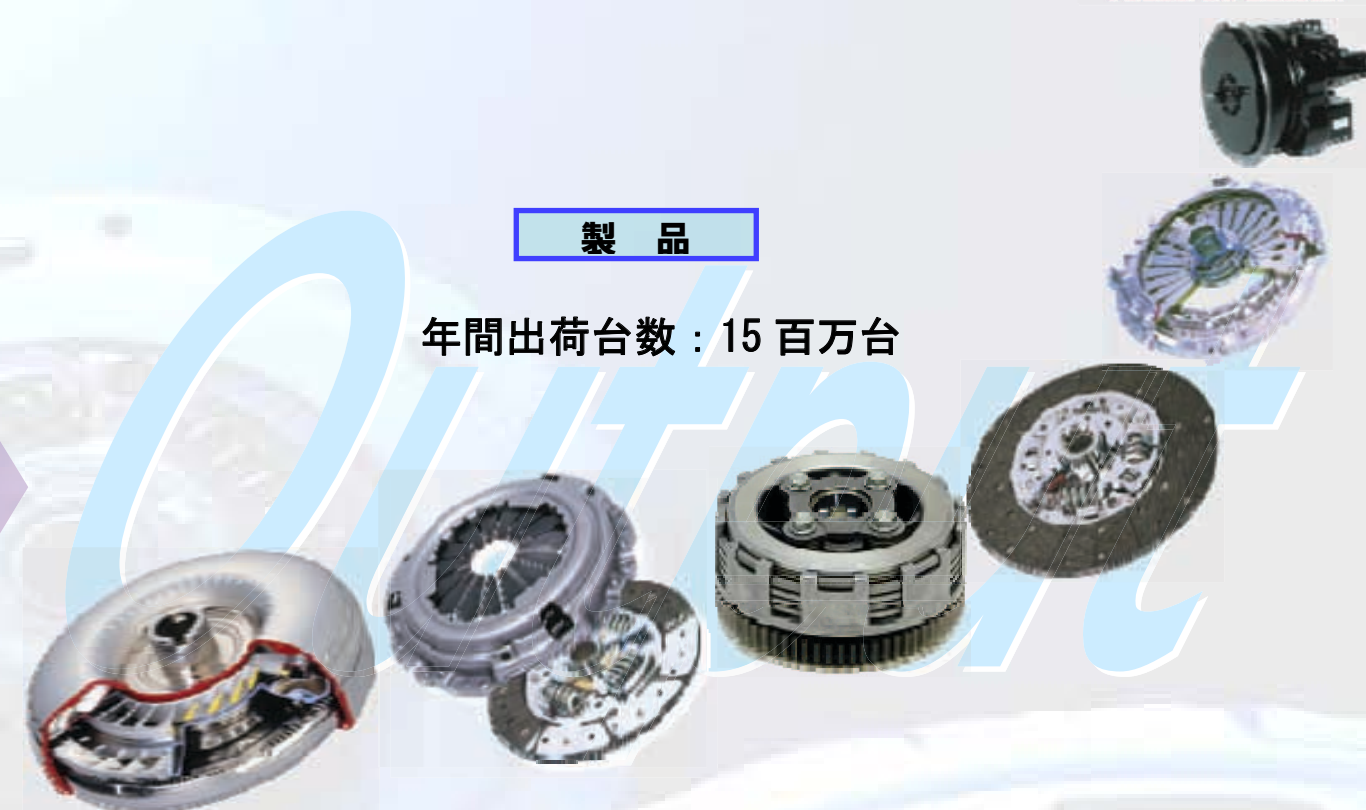
- 🏠 鋼材: 121,955 ト
- 🏠 鋳物: 8,083 ト
- 🏠 鍛造: 13,754 ト
- 🏠 摩擦材: 11.6 百万枚

水資源

- 💧 上水: 175 千m³
- 💧 工業用水: 121 千m³

製品

年間出荷台数: 15 百万台



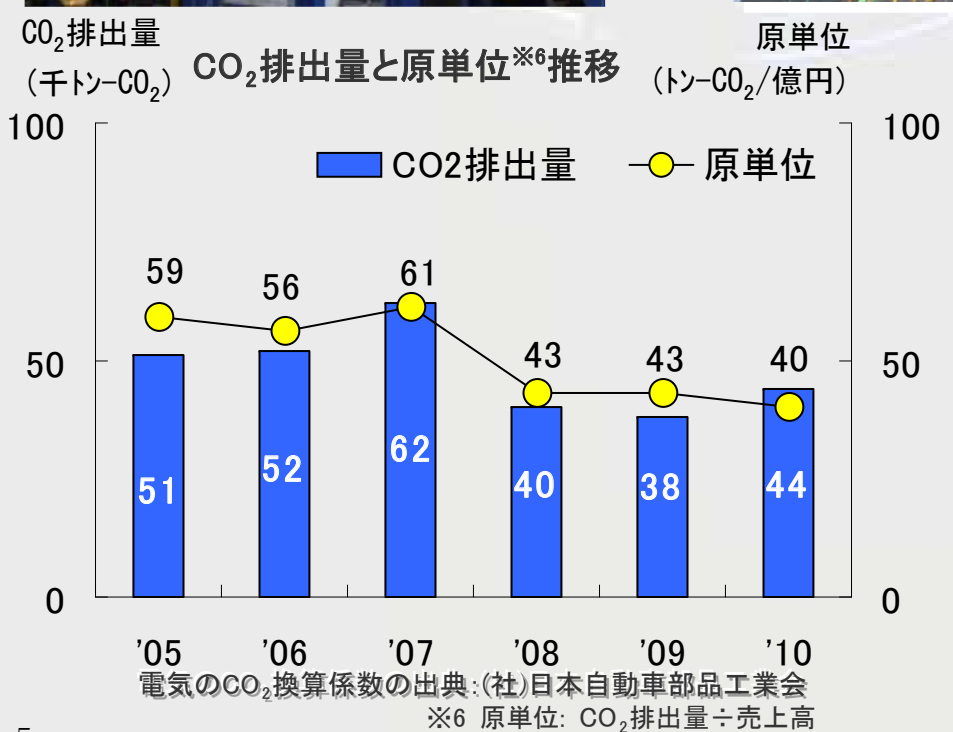
〈 Casting Line 〉



スクラップ(再資源)
社内リサイクル:
13,466 ト



〈 Assembly Line 〉

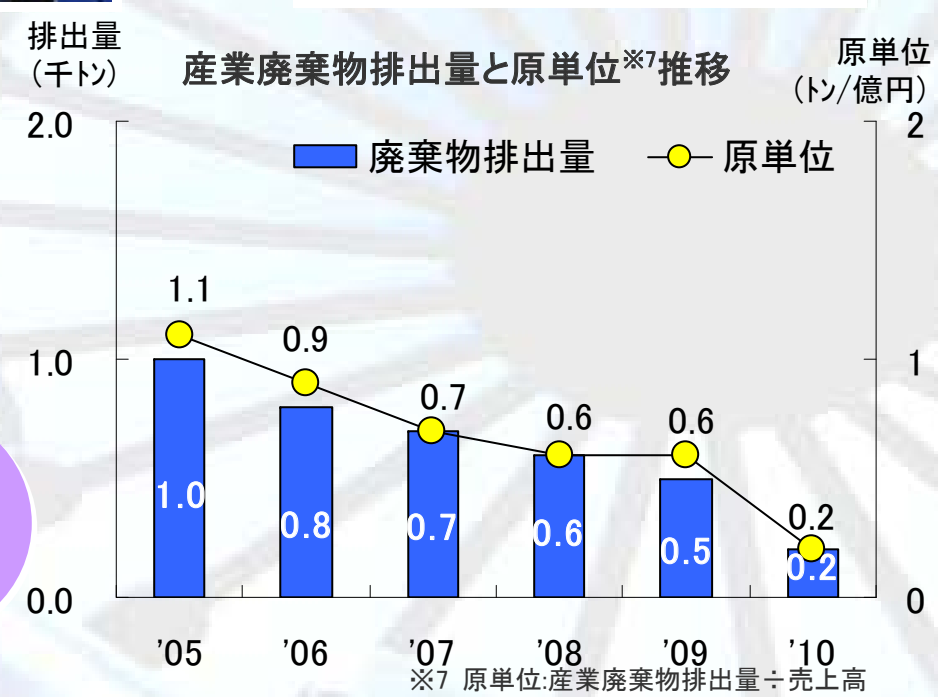


CO₂排出
43,683 ト

外部委託
再資源化物
39,833 ト

外部委託
埋め立て
139 ト

外部委託
中間処理
33 ト



生産・製品におけるCO₂削減への取組み 実施例（2010年度）

当社の本業であるものづくりの中で、素重、取りしろ削減、軽量化を進めるとともに、「省エネ7つの着眼点※8」に基づき、省エネ・CO₂削減に向けた施策を進めています。

※8 省エネ7つの着眼点：「きめる」、「とめる（やめる）」、「なおす（もどす）」、「へらす（さげる）」、「わかる」、「かえる」、「ひろう」



■ きめる

🌱 運用管理による電気エネルギー削減

管理者を決め、照明のON・OFFを管理することで照明の電気エネルギーを削減しました。
(CO₂削減量：1 トン-CO₂/年)
(M&T製造本部)

照明毎の徹底した管理を実施

■ とめる

🌱 空調停止による電力削減

試験機の熱気を逃がすため排煙ハッチを常時開放することにより、空調を止め、空調稼働エネルギー(CO₂削減量：5.9 トン/年)を削減しました。
(技術開発本部)

排煙ハッチに屋根を設置し、雨天時も開放可能



■ なおす

🌱 故障コンベアー見直しによる電力削減

スクラップコンベアーを撤去し、シュートを取り付けることにより、消費電力を(CO₂削減量：0.4 トン/年)削減出来ました。
(AT 製造本部)

修理も立派な省エネ活動になります

■ わける

🌱 照明稼働エリアわけによる照明点灯時間削減

レイアウト変更をし、照明点灯エリアを分けることにより、稼働時間を短縮させることができました。これにより使用電力エネルギー(CO₂削減量：1.1 トン/年)を削減しました。
(株エクセディ 物流)

実施例（2010年度）



■ さげる

🌱 エアー減圧制御装置導入によるエネルギー削減

工場送出しエアー圧力 0.03MPa (0.54⇒0.51MPa) 低減時のコンプレッサー動力削減 (CO₂削減量：9.1 トン-CO₂/年) をしました。
(AT 製造本部)

エアー減圧装置



エアー減圧制御盤

■ かえる

🌱 高効率照明導入

厚生棟リニューアルに伴い、高効率照明へ変更。
使用電力量(CO₂削減量：3.6 トン-CO₂/年)を削減しました。
(総務本部)

少ない電力で明るい空間を演出



■ ひろう

🌱 太陽光発電パネル設置

屋根に 200kWhの太陽光発電パネルを設置することにより、使用電力を削減できました。
(CO₂削減量：56 トン-CO₂/年)
(TC ウェスト工場)

屋根いっぱいに敷き詰められた太陽光発電パネル

社会との共生

～歩調をあわせて環境活動を～

深刻化する地球環境において、生産活動に伴う環境負荷も高まっており、従業員一人ひとりの環境問題に対する認識を一層高める必要があります。グループとして歩調を合せた取り組みを推進するために、国内外の連結会社は企業理念を共有し、各社の状況に即した環境活動を展開しています。

労働安全衛生～明るく快適職場づくり～

「安全道場」で幅広い安全人間づくり

エクセディでは国内外問わずグループ会社から研修生を受け入れ、安全・防火・環境教育を実施しています。



現地現物でのリスクアセスメント教育風景



太陽光発電式LED街灯を寄贈

創立60周年記念事業の一環として太陽光発電式LED街灯をエクセディ本社(大阪府)近隣の小中学校3校へ1基ずつ寄贈しました。本街灯は太陽光発電により蓄電・点灯するためCO₂の排出が無く、また発電量の見える化で子どもたちの環境教育の一助となることが期待されます。

本社近隣に寄贈された太陽光発電式LED街灯

大阪府知事より感謝状

大阪府トライアングルリニューアル事業に伴い、エクセディ本社近隣歩道橋塗装作業ボランティア参加とネーミングライツ事業に協賛し、大阪府知事より感謝状を頂きました。



頂いた感謝状



グリーンカーテン

寝屋川市エコ活動の一環としてグリーンカーテンに取り組み、見た目にも涼しく温暖化防止の一助を担いました。

すくすくと成長したゴーヤのグリーンカーテン

関連会社情報

障がい者雇用促進(特例子会社設立)

2011年3月障がいのある方のパワーを活かし、企業とともに成長・発展していくことを目的に(株)エクセディ太陽(大阪府)を設立しました。



(株)エクセディ太陽の社屋



最新設備でVOC^{※9}排出抑制

ダイナックスアメリカ(アメリカ)ではメタノールの排気燃焼処理の最新設備を導入し、エネルギー効率を55%から95%まで上げることができました。

※9 VOC (Volatile Organic Compounds): 揮発性有機化合物の略

最新設備でVOC排出抑制とエネルギー効率をUP

タイ政府認定優秀企業表彰

エクセディフリクションマテリアル(タイ)がタイ政府認定「職場の安全・衛生・環境マネジメント優秀企業」として労働省より表彰されました。

タイ労働省事務次官 Mr.Somkeast よりトロフィー授与



周辺地域のピカピカ活動

(株)エクセディ 鋳造(京都府)では周辺地域の清掃活動に積極的に参加しています。今後も地域貢献と環境美化を推進します。

自治会と共にピカピカ活動を実施



株式会社エクセディ

〒572-8570 大阪府寝屋川市木田元宮1丁目1番1号

お問い合わせ先： 総務本部 CSR・環境管理チーム

編集責任者 西垣 敬三

作成者 松本 かよ 濱田 徹 水上 博晴 中村 正憲

TEL.072-824-1009 FAX.072-822-4145

発行： 2011年4月

本誌はエクセディホームページ上でもご覧いただけます。

<http://www.exedy.com>

Printed in Japan



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

2011.4 300・741